

診療情報を利用した臨床研究について

平塚共済病院脳神経内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究対象者にあたると思われる方の中で、ご質問のある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとお思いになりましたら、遠慮なく下記問い合わせ先までご連絡下さい。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

(1) 研究概要について

研究課題名：急性期脳梗塞において、未発見の心房細動を発見するためのスコア作成

研究期間：臨床倫理委員会承認後 ～ 2025年 1月 31日

実施責任者：平塚共済病院 脳神経内科 鈴木 聡

(2) 対象となる方

2014年1月1日から2021年12月31日までに平塚共済病院に、急性期脳梗塞のため入院した方。

(3) 研究の意義・目的

急性期脳梗塞の治療においては、抗血栓薬を使用します。抗血小板薬には抗血小板薬と抗凝固薬の2種類があり、脳梗塞の原因に応じて、速やかに適切な抗血栓薬を選択することが重要です。動脈硬化性（アテローム血栓性）や小梗塞（ラクナ梗塞）には、抗血小板薬を。心房細動などの不整脈が見つかった場合（心原性脳塞栓症）には、抗凝固薬を使用します。しかし、実臨床においては、アテローム血栓性と思われた症例が、後に心房細動がみつかって、加療方針の変更を要することがしばしば経験されます。こうした症例を識別するために、心エコー検査やホルター心電図検査などを使ってリスク判定のためのスコアが開発されています。一方で、従来スコアでは、時間のかかる検査や高い検査技能を要す検査が必要となることがおおく、スコアを簡易に算出することが困難です。速やかに適切な加療を行うことが重要な脳梗塞診療においては、簡易に算出できるスコアは意義が高いと考えます。本研究では、血液検査や心電図

検査、画像検査など比較的簡易に結果を得ることのできる項目を使って、簡易に算出することのできるスコアの作成を目指します。

（４）研究の方法

当院および協力病院に保存されている過去の診療録を使って研究を行う他施設共同研究を予定しています。使用する項目としては、患者様の ID、血液検査データ、身体所見、心電図検査、画像検査、診療録を参照します。本研究は、過去の保存データを使用する後向き研究であるため、患者様に身体的なリスクや負担はかかりません。

（５）個人情報の保護について

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定されないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後 2030 年 1 月 31 日まで保存いたします。その後、個人が特定できる画像・臨床データに関しては破棄されます。

（６）研究成果の公表について

順次、当院 HP にて公開いたします。

（７）費用について

患者様にご負担いただく費用は、ありません。

（８）問い合わせ等の連絡先

平塚共済病院 脳神経内科 鈴木 聡

（対応可能時間：平日 9 時～17 時）

電話：0463-32-1950（代表）